

《 最後まで、忍耐をもって 》

33rd Sunday C
2025.11.16 ミサ説教

ある日のことです。「大変ですね」と一人の信徒が言いました。「何のことですか」と私は答え尋ねました。「昨日の夜ニュースによると、スーパー台風があなたの国に上陸して、大雨と猛烈な風をもたらしました。高い波が多くの家屋を飲み込み、橋が崩落し、激しい洪水が家屋や建物の中に入り込んだということです。自然災害がつぎからつぎへと起こりました。」と信徒は言いました。その日のテレビで、信徒が話題にしていたニュースが何度も繰り返し放送されました。信徒の愛情深い言葉は、私にとって慰めになりました。フィリッピンで起こった多くの自然災害の被害者の人々が、本当にかわいそうです。

実際に、そのようなニュースは非常に恐ろしいです。皆さんは世界の終わりを恐れていますか。あるいは、この訊き方にしましょうか。あなたがたは、世界が崩落していると感じていますか。そして、神はどこにおられるのだろうと考えていますか。人々が神殿の素晴らしさや美しさを見て話していた時、イエスは神殿の完全な破壊について話しています。話の途中で、イエスは、戦争、迫害、暴力、そして、親しい関係の中で分裂や対立について話し始めています。これは本当に怖いことです。このような状況下で、どうすれば普通の生活を送れるのでしょうか。争いのために、自分の親しい人々と離ればなれになりたい人はいるのでしょうか。これは本当にひどいことです。

災害や分裂は、私たちの命を脅かす可能性があります。それらは日常生活や習慣を乱し、私たちの土台を揺るがし、自分の限界や弱さを意識させます。また、心の安らぎや穏やかさを取り除いてしまうこともあります。このような時、信仰を捨ててしまう人々がいます。残念なことです。信仰を守り生きるための戦いは、確かなことであり、大きな挑戦です。

兄弟姉妹の皆さん、人生の課題が重すぎると感じる時、命が脅かされているとき、諦めて課題に降伏したくなる時、このような時こそイエスの言葉を思い出すべきです。「あなた方の髪の毛の一本も決してなくなるしない。忍耐

によって、あなた方は命を勝ち取りなさい。」と。忍耐心によって、永遠の命・救いを得るのです。

ある日曜日の朝、私は吹田教会へ向かう途中、ちょうど教会から出てきたばかりの年配の女性に会いました。立ち止まって挨拶をしました。明らかに、彼女は歩行に問題を抱えていました。足がむくんでいたのです。非常に悪いです。彼女は私に、高齢と悪い足のせいで、教会から離れることになるかもしれないと話してくれました。でも、彼女はそうなることを望んでいませんでした。だから、困難なときにさえ、毎週日曜日に、教会へ行こうと精一杯努力していたのです。私は彼女の信仰に感心しています。彼女の存在は、彼女の信仰と忍耐の証です。このような困難な時こそ、私たちは世界や周りの人々に自分たちの信仰を示すことができます。このような苦しい時、辛い時であっても、私たちが善行をし続けることを希望します。